

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習 I	高山 有紀	1 年次	春

授業のキーワード	読解力の養成、レポートの書き方、漢字検定
授業の概要	文章を読み要約する練習を行うことで、読解力と基礎的な文章力を身につけます。また、短大での学習の基礎となる情報収集の方法についても学習します。また日本漢字能力検定(漢検)の合格を目指し、そのための学習も 行います。単に漢字を「読む」「書く」という 知識だけではなく、漢字の意味を理解し、 文章の中で適切に使える能力を養います。
期待される学習成果 (目標)	短大で授業を受ける際の留意点や、学習した内容を身につける方法、課題に取り組む手法など、今後の学習に役立つ知識や技能を身につけることができますようにします。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	合同ゼミ		第 9 講	合同ゼミ	
第 2 講	オリエンテーション	ゼミでの学習について説明を行います。	第 10 講	報告準備①	課題書に関連したテーマを設定し、報告の準備を行います。
第 3 講	課題書を読む①	課題書を読み、意見交換します。	第 11 講	報告準備②	課題書に関連したテーマを設定し、報告の準備を行います。
第 4 講	課題書を読む②	課題書を読み、意見交換をします。	第 12 講	報告準備③	課題書に関連したテーマを設定し、報告の準備を行います。
第 5 講	合同ゼミ		第 13 講	報告	報告を行います。
第 6 講	課題書を読む③	課題書を読み、意見交換をします。	第 14 講	報告	報告を行います。
第 7 講	図書館学習	図書館を利用した情報収集の方法について確認します。	第 15 講	まとめ	本講での学習内容を総括します。
第 8 講	課題書を読む④	課題書を読み、意見交換します。	定期試験		授業の中で行った報告にもとづき、レポートを作成してもらいます。
評価方法		授業への取り組み 40 パーセント、課題・レポート等に対する評価 60 パーセント。なお卒業時まで「漢検」に合格することが「基礎演習 I」の成績評価の前提となります。評価方法の詳細は、初回の授業や「合同ゼミ」において説明します。ただし、すでに日本漢字能力検定 3 級以上を取得している人はこの限りではありません (要証明書)。			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
学校指定の漢検テキスト			山岸俊男『心でっかちな日本人』ちくま文庫 荻谷剛彦『学校ってなんだろう ー教育の社会学入門ー』ちくま文庫		